

事業名 CD	0110070112	武田の里ウォーキング事業
細分化した事業名		武田の里ウォーキング事業
事業担当課室 CD	500100	教育課
		整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり
	中項目	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり
	小項目	スポーツ活動の充実
関連する個別計画等		根拠条例等
関連する事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町村に類を見ない、50Kmの「ウルトラ・ウォーキング」及び15kmの「エンジョイ・ウォーキング」を同時開催するという点から、イベントを通して韮崎市を県内外にアピールする。</li> <li>・体力の増進と精神の鍛錬を図るとともに、ウォーキングを定着させる。</li> </ul>
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	武田の里ウォーキング参加者
これまでの改善経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マラソン大会から誰もが参加できるウォーキングに変更。(平成13年度)</li> <li>・50kmの「ウルトラ・ウォーキング」に加えて、15kmの「エンジョイ・ウォーキング」を同時開催(平成19年度までは22kmの「ハーフ・ウォーク」として開催)</li> </ul>
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/>市 <input type="checkbox"/>委託 <input checked="" type="checkbox"/>補助金 <input type="checkbox"/>その他( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武田の里ウォーク実行委員会に補助金を交付し、実行委員会で実施内容等を決定する。</li> <li>・50kmコース申込者からは、3,000円の参加料を徴収。</li> <li>・諏訪高島城～韮崎新府共撰所までの50Kmのナイトウォーキングを実施する。 スタート 22時      ゴール 翌日6時～14時</li> <li>・15kmコース申込者からは、1,000円の参加料を徴収。</li> <li>・韮崎中央公園陸上競技場～武田八幡神社等史跡～韮崎新府共撰所までの15Kmのウォーキングを実施する。 スタート 9時      ゴール 14時まで</li> </ul>
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武田の里「にらさき」を県内外にPRする。</li> <li>・韮崎市を代表するイベントとして定着させる。</li> </ul>

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	8,462	8,389	8,450
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他	2,070	2,439	2,499
	一般財源	6,392	5,950	5,951
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.76	0.76	0.76
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	5,251	5,185	5,106
D	総事業費(A+C) (千円)	13,713	13,574	13,556
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	424 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実 績 値		
			20 年度	21 年度	22 年度
活動指標	申込者数	(人)	979	987	1,109
	当日参加者数	(人)	906	904	1,018
	踏破者数	(人)	861	868	982
	市外申込者数	(人)	817	799	909
成果指標	踏破率 (算出式数値)	踏破者数/当日参加者数 (%) 982 人/1,018 人	95.03	96.02	96.46
	市外者申込率 (算出式数値)	市外申込者数/申込者数 (%) 799 人/1,109 人	83.45	80.95	81.97
効率指標	申込者一人当り経費 (算出式数値)	総事業費/申込者数 (円) 13,556 千円/1,109 人	14,007	13,753	12,224
	参加者一人当り経費 (算出式数値)	総事業費/当日参加者数 (円) 13,556 千円/1,018 人	15,136	15,015	13,316

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない ・近年の健康志向や生涯スポーツへの関心の高まりから、ウォーキング大会を開催することは意義があり妥当である。 ・踏破率が90%以上(ウルトラ)でありコース設定も妥当である。
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない ・50kmという長い距離とナイトウォーキングという点は、他市町村では見られない形態であることから話題性もある。また、市内史跡等をコースとする15kmのエンジョイ・ウォーキングを同時開催することで、参加者増が期待できる。 ・健康的な「武田の里にらさき」がPRできている。 ・イベントとして定着してきており、ウォーキングの推進にも寄与している。
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 50kmのナイトウォーキングのため、昼間の開催より経費がかさむが、交通量の多い昼間での開催は難しい。日中のエンジョイウォーキングを同時開催することで、参加者の増加によりコストダウンが図られる。

総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
------	--

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり
---------	---

改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 21年度事業の実施内容を踏まえ検討する。	(2) 24年度	(3) 23年度 震災の影響により中止(50kmのナイトウォーキングを柱とした中で、参加者増が見込める同時開催事業を検討する。)
	22年度の改善計画 現行どおり		
22年度の改善結果 商工会に依頼しゴール会場(新府共選所)の対応を試みるも、他の催し物との兼ね合いもあり寂しい限りであった。反省点を現場で生かしたい。			

市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)

「桃の花まつり」(観光課)との同日開催であるため、商工会等やボランティアの参加についても検討する。コース内は公道使用などの状況から大幅な改善は望めないが、ゴール会場での対応は改善したい。また一部の市民が任意で販売を行うなど衛生管理上、問題が生じ得る状況もあるため全体の掌握が必要と考える。

課長所見	市内の史跡・自然を活用した年度初めの事業であり、参加者も着実に増加している。参加者ニーズを分析しながら市内外から支持される大会を目指す。今後は近隣の同一事業を参考に「経費削減」「運営形式」を検討していきたい。
------	--